

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月6日
上場取引所 東

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社
 コード番号 7991 URL <https://www.mamiya-op.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 正夫
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 鈴木 浩一郎 TEL 03-6273-7360
 半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	20,604	74.0	5,275	144.4	5,509	114.5	3,934	117.8
2024年3月期中間期	11,839	108.3	2,159	299.8	2,568	169.6	1,806	93.2

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 3,864百万円 (90.7%) 2024年3月期中間期 2,026百万円 (59.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	383.11	381.07
2024年3月期中間期	207.50	206.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	41,777	24,245	57.9	2,342.11
2024年3月期	38,470	20,593	53.4	2,065.74

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 24,191百万円 2024年3月期 20,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期（予想）			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	9.5	4,400	△9.6	4,800	△12.5	3,300	△14.4	322.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	10,508,670株	2024年3月期	10,123,270株
2025年3月期中間期	179,761株	2024年3月期	179,412株
2025年3月期中間期	10,268,674株	2024年3月期中間期	8,704,322株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的风险や不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績等は記載事項と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おきください。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」、同じくP. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、各種政策の効果もあり緩やかに回復しております。一方で、海外景気の下振れによる我が国の景気を下押しするリスク、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下で当社グループは、システムソリューション事業の強化を進めつつ、グループの経営資源を有効に活用し、安定的かつ持続的な成長を実現するため、高品質と低コストを兼ね備えた製品の提供や、顧客の抱える課題に対するソリューションの提案に取り組み、更なる企業価値の向上を図ってまいりました。

当中間連結会計期間においては、電子機器事業セグメントにおけるスマート遊技機及び新紙幣対応の紙幣識別機の入れ替え需要が当初計画を大きく上回り、業績が伸張いたしました。

この結果、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は206億4百万円(前年同期比74.0%増)、営業利益は52億75百万円(前年同期比144.4%増)、経常利益は55億9百万円(前年同期比114.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は39億34百万円(前年同期比117.8%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(電子機器事業セグメント)

アミューズメント関連製品の主要な市場であるパチンコ・パチスロ関連市場は、全日遊連が発表した「組合員加盟店舗の実態調査」結果によると、2024年8月末日現在の全日遊連加盟パチンコホール店舗数は6,082店舗となり、減少傾向が続いております。一方で、スマートパチスロの設置店舗数及び設置台数は順調に伸びており、スマート遊技機用ユニットの需要が好調に推移したことに加え、新紙幣対応の紙幣識別機への入れ替え需要も当初計画を上回り、業績は伸張いたしました。

モバイルオーダーシステム「CHUUMO」につきましては、購入意欲の高い顧客への積極的なアプローチ、販売チャネルや営業力の強化を行い、新規大口案件の獲得に努めてまいりました。また、液晶小型券売機につきましては、中小企業省力化投資補助金の対象製品に登録されたことによる販売強化や、観光地などにおけるインバウンド需要をつかむための営業強化に努めたことにより、堅調に推移いたしました。

自律走行システム「I-GINS」につきましては、「I-GINS」搭載車両の販売に加え、顧客所有の芝刈り車両への「I-GINS」後付けによる自律走行車両化といった戦略的な営業活動の実践、保守メンテナンス体制の確立、そして自律走行車両の共同開発にも取り組んだことにより、堅調に推移いたしました。

マミヤITソリューションズにつきましては、アミューズメント関連システムやモバイルオーダーシステム開発の案件において開発遅延等の影響により、低調に推移いたしました。

ICカードリーダライタにつきましては、リーダライタ入替需要の下期以降への先送りや、油槽所システムにおける新ICカード需要の減少傾向により、ICカードの発行枚数は低調に推移いたしました。

この結果、電子機器事業セグメントの売上高は165億8百万円(前年同期比73.2%増)、営業利益は44億95百万円(前年同期比102.3%増)となりました。

(スポーツ事業セグメント)

国内におきましては、フェアウェイウッド・ハイブリッド用の「LIN-Q EX FW/HY」を市場投入するとともに、YouTubeをはじめとするSNSや雑誌広告、地上波テレビCM放映などを使ったブランド認知度の向上による販売拡大施策を進め、需要の回復傾向もあり売上高は堅調に推移いたしました。円安による原材料高騰の影響を受け、利益は低調に推移いたしました。

海外におきましては、大手クラブメーカーへのOEM受注販売並びに棒高跳び用ボールの販売が堅調に推移いたしました。原材料等の高騰による原価上昇の影響を受け、利益は低調に推移いたしました。

この結果、スポーツ事業セグメントの売上高は26億41百万円(前年同期比18.8%増)、営業利益は21百万円(前年同期は71百万円の営業損失)となりました。

(不動産事業セグメント)

不動産事業セグメントにおきましては、収益用賃貸物件の建替えによる売上減少を、大手調剤薬局との協業によるヴィレッジ型医療モールをはじめとした賃貸物件の収益と販売用不動産の売却収益で補うとともに、外部コンサルタントを通じた情報収集に加え、新たな収益不動産の購入検討や仲介ビジネスに取り組んでまいりました。

この結果、不動産事業セグメントの売上高は14億56百万円(前年同期は82百万円)、営業利益は7億58百万円(前年同期は8百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は281億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億7百万円増加いたしました。

これは主に、原材料及び貯蔵品が6億26百万円、販売用不動産が6億29百万円減少したものの、現金及び預金が18億92百万円、受取手形及び売掛金が28億54百万円増加したことによるものであります。固定資産は136億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億円減少いたしました。これは主に投資有価証券が4億71百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は417億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億6百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は106億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が2億58百万円減少したことによるものであります。固定負債は68億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億38百万円減少いたしました。これは主に長期借入金金が1億49百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は175億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億45百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は242億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億52百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益39億34百万円の計上があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は57.9%（前連結会計年度末は53.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想並びに配当予想につきましては、2024年8月6日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において公表した内容から変更ありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なることがあります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,200,675	10,092,954
受取手形及び売掛金	5,204,653	8,059,435
電子記録債権	2,121,650	2,768,629
商品及び製品	2,532,926	2,159,381
仕掛品	860,495	878,347
原材料及び貯蔵品	4,185,829	3,559,254
販売用不動産	895,301	265,659
その他	536,459	362,753
貸倒引当金	△3,314	△4,046
流動資産合計	24,534,679	28,142,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,377,719	1,536,415
機械装置及び運搬具(純額)	350,735	347,992
工具、器具及び備品(純額)	185,036	148,374
土地	3,263,858	3,263,858
リース資産(純額)	281,845	300,728
建設仮勘定	242,772	176,551
有形固定資産合計	5,701,966	5,773,920
無形固定資産		
その他	262,012	266,825
無形固定資産合計	262,012	266,825
投資その他の資産		
投資有価証券	5,866,212	5,394,685
長期貸付金	679,671	674,058
出資金	959,783	1,076,606
繰延税金資産	7,953	10,496
その他	466,640	446,940
貸倒引当金	△8,525	△8,525
投資その他の資産合計	7,971,737	7,594,263
固定資産合計	13,935,715	13,635,009
資産合計	38,470,395	41,777,379

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,790,490	3,128,695
電子記録債務	2,923,597	2,665,257
短期借入金	845,000	651,000
1年内返済予定の長期借入金	1,564,217	1,599,119
未払法人税等	1,620,576	1,541,943
賞与引当金	100,142	99,519
その他	1,040,504	992,845
流動負債合計	10,884,530	10,678,380
固定負債		
社債	900,000	900,000
長期借入金	4,245,171	4,095,556
繰延税金負債	524,349	495,112
役員退職慰労引当金	41,350	43,238
退職給付に係る負債	1,006,127	1,024,893
その他	275,403	294,622
固定負債合計	6,992,401	6,853,423
負債合計	17,876,931	17,531,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534,381	4,804,323
資本剰余金	760,744	1,030,685
利益剰余金	13,465,861	16,645,848
自己株式	△258,442	△258,947
株主資本合計	18,502,545	22,221,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,027,073	636,505
繰延ヘッジ損益	10,761	△19,494
為替換算調整勘定	1,001,054	1,352,542
その他の包括利益累計額合計	2,038,890	1,969,552
新株予約権	40,030	42,078
非支配株主持分	11,997	12,035
純資産合計	20,593,463	24,245,575
負債純資産合計	38,470,395	41,777,379

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	11,839,044	20,604,891
売上原価	7,965,133	13,322,159
売上総利益	3,873,910	7,282,732
販売費及び一般管理費	1,714,886	2,006,961
営業利益	2,159,024	5,275,770
営業外収益		
受取利息	10,013	22,216
受取配当金	20,537	50,948
為替差益	154,094	—
出資金運用益	202,481	126,572
持分法による投資利益	23,808	126,699
その他	37,555	30,010
営業外収益合計	448,490	356,447
営業外費用		
支払利息	29,776	38,279
為替差損	—	78,140
その他	9,200	5,818
営業外費用合計	38,976	122,239
経常利益	2,568,539	5,509,977
特別利益		
固定資産売却益	18,821	—
特別利益合計	18,821	—
特別損失		
固定資産除売却損	4	293
投資有価証券評価損	5,999	—
特別損失合計	6,004	293
税金等調整前中間純利益	2,581,355	5,509,684
法人税、住民税及び事業税	616,700	1,415,169
法人税等調整額	158,477	160,461
法人税等合計	775,177	1,575,631
中間純利益	1,806,178	3,934,053
非支配株主に帰属する中間純利益	69	37
親会社株主に帰属する中間純利益	1,806,109	3,934,015

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,806,178	3,934,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,123	△400,373
繰延ヘッジ損益	49,399	△30,256
為替換算調整勘定	175,102	351,487
持分法適用会社に対する持分相当額	21,157	9,805
その他の包括利益合計	220,536	△69,337
中間包括利益	2,026,714	3,864,715
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,026,645	3,864,678
非支配株主に係る中間包括利益	69	37

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使による新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ269,941千円増加いたしました。

その結果、当中間連結会計期間末において、資本金が4,804,323千円、資本剰余金が1,030,685千円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これにより中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これにより中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益 計算書計上額
	電子機器 事業	スポーツ 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,533,041	2,223,618	82,384	11,839,044	—	11,839,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	120	46	—	166	△166	—
計	9,533,161	2,223,664	82,384	11,839,210	△166	11,839,044
セグメント利益又は損失(△)	2,222,415	△71,988	8,597	2,159,024	—	2,159,024

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益 計算書計上額
	電子機器 事業	スポーツ 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,508,081	2,641,291	1,455,519	20,604,891	—	20,604,891
セグメント間の内部売上高又は振替高	120	25	1,026	1,171	△1,171	—
計	16,508,201	2,641,316	1,456,545	20,606,062	△1,171	20,604,891
セグメント利益	4,495,576	21,437	758,756	5,275,770	—	5,275,770

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。